

第4回 東アジア鉄器研究ワークショップ ー古代・中世製鉄技術をめぐってー

日時：平成27年5月30日(土)・31日(日)

場所：5月30日:岡山県新見市文化交流館・生涯学習センター(〒718-0011 新見市新見 123-2)

5月31日:新見市たたら操業施設(〒718-0013 新見市正田 407)

本ワークショップでは、各時代、各地域を代表する鉄の製品や生産関連遺物を実地で観察し、参加者相互で議論し、それらに対する観察力と表現力を高めることを目的としています。

4回目は古代・中世に行われた製鉄技術について議論します。これまで備中国新見庄たたら伝承会と東アジア古代鉄文化研究センターは毎年、失われつつある伝統的製鉄技術、銑押し法(銑鉄生産技術)の復元に取り組んできましたが、平成26年度の実験では銑鉄を連続的に炉外に流し出すことに成功しました。今回は1日目に復元実験の経過・成果に関する議論を行い、2日目に実験場において実験炉を解体しながら、製鉄炉内における鉄や鉄滓のありようを確認したいと考えています。



古墳時代以降の製鉄技術について、実地で学ぶことのできるまたとない機会です。皆様のご参加をお待ちしております。

ープログラム・コンテンツー

平成27年5月30日(土)	平成27年5月31日(日)
12:30 受付開始	9:30 製鉄炉(底部)の解体と意見交換会
13:00 開会	12:30 閉会
13:05 銑押し法復元の経過と成果(村上恭通)	
14:05 実験資料の観察	
14:45 討論(木原明村下・村上恭通)	
15:45 意見交換(進行:村上恭通)	
16:30 閉会	
※閉会後に新見駅前の伯備にて、懇親会を予定しております。	
※資料代:実費(1,000円程度) ※懇親会参加費:(5,000円程度)	

◆参加を希望される方は、電子メールに必要事項を記載しお申し込みください。【5/20(水)締切必着】

①氏名 ②所属(機関・団体/役職) ③住所・所在地 ④連絡先電話番号 ⑤連絡先メールアドレス(又は FAX) ⑥懇親会参加希望の有無(会場の設営の都合上当日の参加は出来ません)

(FAXで申し込みをされる場合は必ず宛名に「備中国新見庄事務局宛て」をご記入ください)

【お申込・お問合わせ先】 備中国新見庄たたら伝承会 事務局 岡崎 平

電子メール:tatara@net-sealion.com

住所:〒718-0015 新見市石蟹 248-1(株式会社自光モーターズ内)

FAX:0867-76-1106

*なお、申し込みの個人情報は、本ワークショップのご連絡以外には使用いたしません。